



中尾利香 (自民公明クラブ)

(仮称)地域交流センターの 施設や設備内容は

企画展や舞台発表等の場を整備し 必要な設備を検討する

議員 (仮称)地域交流センターには、どのような施設や設備内容を考えているか。

市長 誰もが気軽に利用できる交流の場として、現代美術館と連携した企画展やダンス・音楽の舞台発表ができるギャラリー、多目的室、カフェスペースを整備し、さまざまな活用できる音響、照明などの設備を実施設計で検討していきます。

議員 用許可基準を見直す考えはないか。

病院事務局長 対象者が小児や高齢者の場合など本人以外の運転で通院しなければならぬケースもあるので、使用許可基準を見直したいと考えています。

議員 周知のために工夫していることはあるか。

健康福祉部長 広報とホームページへの掲載、ポスター・チラシの掲示、障害福祉サービス事業者へのパンフレット配布を行っています。

広域コミュニティ事業の 拡大を

地域と協議しながら 今後も支援していく

行っています。活性化の方策としては、先進地の事例も参考に地域と協議して今後も支援していきます。

4万円、正味財産が年度末で約313万円となっています。



工藤正廣 (市民連合クラブ)

議員 指定管理者の選定基準は。

総務部長 申請団体の提出書類と担当課が作成した意見書をもとに、副市長を委員長とする指定管理者選考委員会の採点方式で審査を行い選定しています。

議員 出資割合から

も市が指導に入り、現在の経営状況を早期に改善してほしい。

農林商工部長 法人の基本金は1千3百万円で、市が1千万円、JA十和田おいらせ、十和田湖商工会、上北森林組合が百万円ずつ出資しています。

議員 広域コミュニティの活動領域の拡大策は。

市長 既存の広域コミュニティには、市で事務局経費や活動経費などの財政支援をしています。新規設立もできるような情報提供や地域づくり座談会の開催などを継続して

議員 (一財)十和田湖ふるさと活性化公社の経営状況は。

農林商工部長 平成30年度の決算書類では、売上高が約5億5千万円、当期損失が約36



市が指導し指定管理者の経営改善を

議員 ヘルプマーク(※)の普及が進んでいないと感じているが、

社協議会と連携し、周知に向けた協議をした

議員 中央病院車椅子専用駐車場の利用条件は、障害者本人が自動車を運転する場合だが、対象となる障害者が同乗している場合にも利用できるよう、使

ヘルプマークは赤色部分から配慮せず、周囲に知らせる必要と助ける色



ヘルプマークは赤色部分から配慮せず、周囲に知らせる必要と助ける色

※外見などに周知を助ける色